

第1回

関東地区高校生福祉研究発表会



日時：令和2年11月4日（水）

9：00～15：15

場所：各高校

学校名	年	氏名
-----	---	----

目 次

1	実施要綱	1
2	実施規則	3
3	開会式・閉会式次第	4
4	「Google Meet」使用方法	5
5	第1回関東地区高校生福祉研究発表会 課題	8
6	第1回関東地区高校生福祉研究発表会 意見交換会用紙	10

第1回関東地区高校生福祉研究発表会実施要綱

- 1 目的 関東地区の福祉を学ぶ高校生が、学校という枠を越えて学ぶ機会をつくり、お互いの意見を尊重し合い協議することで、一人では考えつくことができなかつたさまざまな支援の視点に気づき、自立生活支援の方法を創造し、問題を解決する。この大会が生徒たちにとって、チームで課題を解決することの第一歩となり、多様なニーズにチームとして関わり、常に高めあえる関係性の構築を目指す態度を身につける。さらに、福祉を学ぶ高校生の学習成果を広く知らしめる機会とする。
- 2 主催 関東地区福祉高等学校長会
- 3 主管 関東地区高校生介護技術コンテスト実行委員会
- 4 後援 群馬県教育委員会
- 5 日時 令和2年11月4日(水) 9:00～15:15
- 6 場所 メイン会場 群馬県立吾妻中央高等学校
各都県高等学校
- 7 概要 実行委員会が作成した課題について事前に各出場高校が検討する。検討した内容をまとめ、当日ビデオ会議アプリ「Google Meet」を使用し、発表を行う。発表時間は一校7分とする。発表終了後、参加生徒同士の意見交換会を実施する。
- 8 審査 各学校の投票により、順位を決定する。
- 9 来賓 関東ブロック老人福祉施設連絡協議会 会長 田邊 信行 様
文部科学省初等中等教育局 視学官 矢幅 清司 様
厚生労働省社会・援護局 福祉基盤課 福祉人材確保対策室
介護福祉専門官 伊藤 優子 様
群馬県介護福祉士会 会長 堀口 美奈子 様
前橋医療福祉専門学校 専任教員 羽生 匡宏 様
DE T群馬 代表 飯島 邦敏 様
高校教育課教科指導係 指導主事 赤井 恵美子 様
- 10 日程 9:00～ Google Meet への接続確認
9:30～9:50 開会式(来賓挨拶・来賓紹介・諸注意等)
(準備10分)
10:00～10:07 発表1組目(栃木県立矢板高等学校)
10:07～10:12 2組目発表準備(埼玉県立誠和福祉高等学校発表準備)
10:12～10:19 2組目発表(埼玉県立誠和福祉高等学校)
10:19～10:24 3組目発表準備(大川学園高等学校)
10:24～10:31 発表3組目(大川学園高等学校)
10:31～12:00 意見交換会
12:00～12:45 昼食休憩
12:45～12:52 発表4組目(千葉県立松戸向陽高等学校)
12:52～12:57 5組目発表準備(群馬県立新田暁高等学校)
12:57～13:04 発表5組目(群馬県立新田暁高等学校)

13 : 04～13 : 09 6 組目発表準備 (神奈川県立津久井高等学校)
13 : 09～13 : 16 発表 6 組目 (神奈川県立津久井高等学校)
13 : 16～14 : 45 意見交換会
14 : 45～15 : 15 閉会式

11 出場者 1 チーム同一校 3 名程度

12 出場校 6 校
(発表生徒)

栃木県	県立矢板高等学校 (石川 莉子・小貫 映里・神立 千星・横田 芽依)
群馬県	県立新田暁高等学校 (アミン 美玖・津久井 菜々花)
埼玉県	県立誠和福祉高等学校 (福田 ひらり・中野 倫那・菊池 愛美) 大川学園高等学校 (小林 咲佳・平沼 涼・三浦 琴未)
千葉県	県立松戸向陽高等学校 (畠山 凜華・林 華菜・八重樫 聖奈)
神奈川県	県立津久井高等学校 (山際 桃佳・谷口 賢史・和田 彩季)

第1回関東地区高校生福祉研究発表会実施内容

1 目的

関東地区の福祉を学ぶ高校生が、学校という枠を越えて学ぶ機会をつくり、お互いの意見を尊重し合い協議することで、一人では考えつくことができなかつたさまざまな支援の視点に気づき、自立生活支援の方法を創造し、問題を解決する。この大会が生徒たちにとって、チームで課題を解決することの第一歩となり、多様なニーズにチームとして関わり、常に高めあえる関係性の構築を目指す態度を身につける。さらに、福祉を学ぶ高校生の学習成果を広く知らしめる機会とする。

2 実行委員会

「関東地区高校生介護技術コンテスト」の実施主管高等学校の校長を実行委員長とし、福祉教諭をもって組織し実行委員会として企画・運営にあたる。

3 発表内容

- ① 出場資格 関東地区内の高等学校で福祉を学ぶ生徒（1チーム3名程度）とする。各学校の参加チーム数は、原則として1チームとする。
- ② 課題 別紙参照
- ③ 時間 発表準備時間5分、発表時間7分間程度とする。
10分を経過した場合、終了するようアナウンスを行います。
タイマーなどの表示はありません。事務局で発表終了後にかかった時間を報告します。
- ④ 発表方法 課題に関する研究を行う。研究内容や発表内容の指定は行わないこととする。
発表方法は Google Meet を使用し、発表形式は自由とする。発表に際して Google カレンダーの機能を用いて資料を用意しても良い。
- ⑤ 意見交換会 発表終了後に、代表生徒による意見交換会を実施する。
意見交換会は、「意見交換用シート」の内容に沿って進めていく。

開会式次第

司会：吾妻中央高校

1 開会の言葉

2 あいさつ

(1) 主催者あいさつ

関東地区福祉高等学校長会	会長	川嶋 秀樹	(栃木県立矢板高等学校長)
関東地区高校生介護技術コンテスト実行委員会	実行委員長	澤田 徳彦	(群馬県立吾妻中央高等学校長)

(2) 来賓あいさつ

関東ブロック老人福祉施設連絡協議会	会長	田邊 信行 様
文部科学省初等中等教育局	視学官	矢幅 清司 様
厚生労働省社会・援護局 福祉基盤課		
福祉人材確保対策室	介護福祉専門官	伊藤 優子 様

3 来賓紹介

4 本日の予定

5 閉会の言葉

閉会式次第

司会：吾妻中央高校

1 開会の言葉

2 講評

文部科学省初等中等教育局	視学官	矢幅 清司 様
厚生労働省社会・援護局 福祉基盤課	福祉人材確保対策室	
	介護福祉専門官	伊藤 優子 様
前橋医療福祉専門学校	専任教員	羽生 匡宏 様

他

3 閉会の言葉

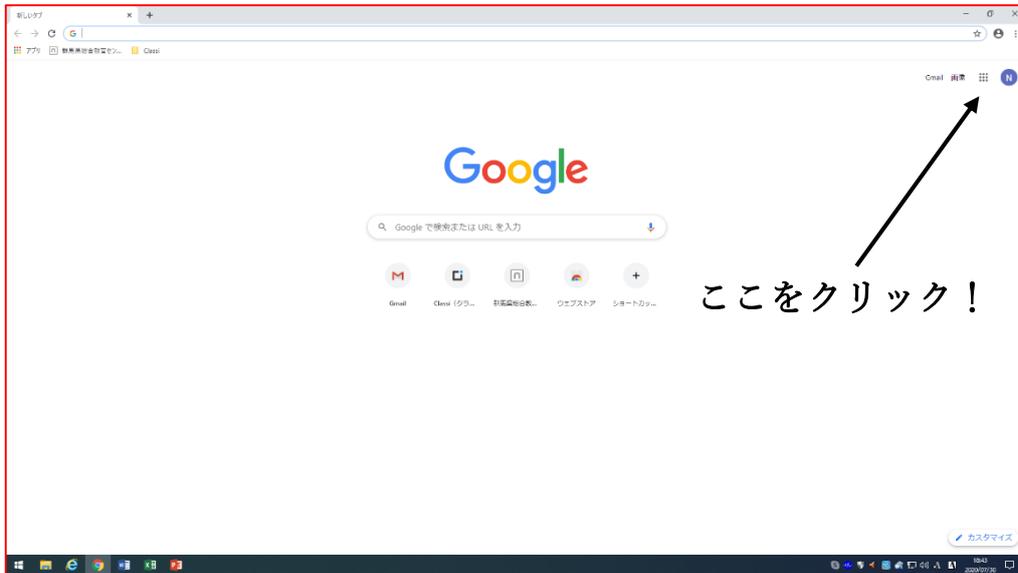
「Google Meet」使用方法

1 Google Meet とは

Google Meet とは、Google が提供する、ビジネスでの利用を目的とした Web 会議ツールです。ビデオ通話・音声通話・チャットなどに対応しています。ビジネスシーンでの利用を想定しているため、プライバシーやセキュリティに対する信頼性が高いことが魅力です。暗号化や不正防止機能が備わっているため、安心してビデオ会議が行えます。

パソコンから使用する時はアプリのインストールが不要です。ブラウザで Google Meet にアクセスすれば、すぐに使えます。

2 会議参加方法





ミーティングコードは、事前に送信してあるメールに記載されています。

また、事前に送られているメール内の URL をクリックすることでも、会議に参加することはできます。

3 Google Meet のメリット

その1 人数制限と時間制限がない！

県の教育委員会が Google Meet を購入したため、10月下旬から11月中旬でも Google Meet は、無料で人数制限なし、時間制限なしで利用することができる。

その2 セキュリティが強い

参加者を生徒をはじめとした関係者のみに限定することができます。Google アカウントの利用で組織やユーザ単位で参加者を制限することができるため、関係者以外が会議に侵入する危険性は極めて低いと言えます。

その3 シンプル！！

ビジネス会議の用途に特化しているため、とても操作はシンプルです。

以上の理由から、「Google Meet」を選択しました。「ZOOM」のほうが多くの先生方に親しまれているイメージですが、開催予定の10月中旬～11月中旬は「ZOOM」の人数や時間の無制限等がすでに終了してしまっている予定です。そのため、今回は「Google Meet」を選びました

令和2年度 第1回 関東地区高校生福祉研究発表会 課題

◆ 課題

日立 竜さん(75才・男性)は2年前に脳梗塞で倒れ、左片麻痺と脳血管性認知症の症状があります。介護老人保健施設に入所していましたが、1年前に特別養護老人ホームに移ってきました。

入浴を終え、シャワーキャリーで脱衣場にいます。身体は拭き終わっています。脱衣場の椅子に移乗して服(肌着・下着)を着るまでの支援をしてください。暑がりなので下着を着用後に整容をしてから衣服を着用します。着衣後は整容を行う予定です。

左上肢は拘縮が強く痛みを伴うためご自分で動かすことが困難であり、ポジショニングが崩れやすく、座位が安定しないことがあります。普段はわずかな距離であれば車椅子で自走されていますが、左側への注意が向きにくい場面が見られます。

立位は、介助者の支えがあれば可能ですが、立位保持能力の低下や痛みがある為、急な膝折れが見られます。

※時間は7分以内

◆ 物品について

【脱衣場】 椅子、足拭きマット(滑り止めマット)、バスタオル2～3枚、ハンドタオル2枚、洗濯かご2コ、肌着(白Tシャツ半袖丸首)、下着(トランクス)(各1組)、シャワーキャリー、手すり、

【利用者】 上(長袖、黒のインナー)、下(ロングスパッツ+ランニングパンツ)(肌と見なす)

◆ 利用者に関する情報

基本情報	ひたち りゅう 日立 竜 75歳 男性
健康状態	2年前に脳梗塞で倒れ、後遺症として、左片麻痺と脳血管性認知症の症状がみられる。
心身機能・身体構造	要介護度3 左上下肢麻痺(左手足に拘縮がある。) 麻痺の程度はやや重く、中等度鈍麻の感覚障害が認められる。 認知症高齢者の日常生活自立度Ⅱb、HDS-R19点 利き手は右 麻痺した腕：肩の高さまでしか上げられない。 肘は、直角くらいまで動く。 指は握ったまま。自力で開くことができない。 介助者が介助すると握った掌は開くことができる。 麻痺した足：股関節は100°くらいまで曲げられる。 膝は直角まで動く。 足関節は直角まで動く。
活動	立位 介助者の支えがなければ、立ち上がりや立位ができない。 ※麻痺側に重心をかけると倒れる危険性がある。 座位 適切な介助・ポジショニングであれば、着座や座位の保持が短時間可能。 移動 歩行は実用的でなく、施設内は車椅子を使用。 右手足をつかってわずかな距離であれば自走が可能。 更衣 衣服の選択は可能。着脱は拘縮があるため一部介助が必要。 排泄 トイレにて一部介助が必要。尿意や便意等あり。

参 加	退職後は、学生時代から続けてきたラグビーを小学生に教えていた。子どもたちや保護者からの信頼が厚かった。脳梗塞発症後は、ラグビーに関わらず自宅から外出しないようになった。子どもは長男、次男、三男の3人。施設のレクリエーションには、職員の声掛けで参加される。
環 境 因 子	1年前に特別養護老人ホームに入所。妻と次男夫婦と孫2人と一緒に住んでいた。長男と三男は結婚して県外に住んでいる。現在は、妻と次男が面会によく来ている。時々、孫が面会に来ると楽しそうにラグビーの話をしている。
個 人 因 子	以前は、小学校の校長をしていた。草花が好きで、趣味は、妻と一緒に植物園に行くこととガーデニングをすることだった。

意見交換会用シート

研究テーマ

学校

	利用者視点	介助者視点	その他
良い点			
疑問点・改善点			